

昭和大学薬学部ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針・卒業時の達成目標）

「至誠一貫」の精神のもと、薬学を通して医療の発展と国民の健康増進と福祉に真心をもって寄与する優れた人材を育成することを目的としています。この目的を達成するための特色あるカリキュラムを通して以下に関する基本的資質・能力を身につけた者に、学士(薬学)の学位を授与します。

1. プロフェッショナリズム

- 薬剤師としての責務を自覚し、強い責任感と倫理観を持って、患者や地域住民に医療を提供できる。

2. コミュニケーション能力

- 多様な背景を持つ人々と良好な人間関係を築くことができる。
- 患者や地域住民、医療関係者などとの間で、必要な情報の収集・提供を適切に行うことができる。

3. 患者中心のチーム医療

- 医療を共に担う多職種の職能を相互に理解・尊重し、患者に関わる情報を共有できる。
- 多職種と連携・協力しながら薬剤師の専門性を発揮し、患者中心の医療を実践できる。

4. 専門的実践能力

4-1 医薬品の調製、管理、供給

- 医薬品の多様な特性と法的規制を理解し、医薬品の調製、管理、供給を適切に実施できる。

4-2 薬物治療の計画・実践・評価

- 患者の病態とともに患者・家族の心理・社会的な背景を把握した上で、科学的な根拠と医薬品の特性に基づいて、安心・安全な薬物治療を実践できる。

5. 社会的貢献

- 医療・福祉にかかわる社会的背景を把握し、プライマリケア、セルフメディケーション支援、在宅医療等を通じ、地域における人々の疾病予防、健康回復・維持・増進と地域の公衆衛生の向上に貢献する。

6. 薬学研究と自己研鑽

- 医療・薬学に関わる研究課題に取り組む科学的探求心を有する。
- 論理的、批判的な視点から医療・薬学に関わる問題を発見し、解決するための方策を提示できる。
- 最新の知識や技能、必要な情報を生涯にわたって獲得する意欲と態度を有する。
- 医療における自らの行動を常に省察して、自己向上に努める。

7. アイデンティティー

- 昭和大学の伝統を重んじ、その名誉を高めるために全力を尽くす。